

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

がん診療連携拠点病院等447施設に対して308施設より返送あり（回答率 68.9 %）

## 1. 回答施設の背景

### がん領域における各認定取得者の在籍状況

施設数 (n=308)

日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師	154	50.0%
日本医療薬学会 がん指導薬剤師	80	26.0%
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	151	49.0%
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	232	75.3%

### 外来化学療法加算の算定

施設数 (n=308)

加算1	294	95.5%
加算2	13	4.2%
他(未回答含む)	1	0.3%

### がん患者指導管理料への算定について

施設数 (n=308)

算定あり	273	88.6%
算定なし	35	11.4%

\* 「算定している」と回答した273施設に対して…

### 算定している職種

施設数 (n=273)

薬剤師のみ	169	61.9%
薬剤師と医師の両者	87	31.9%
医師のみ	15	5.5%
他(未回答含む)	2	0.7%

### 連携充実加算の算定

施設数 (n=308)

2021年4月より開始	57	18.5%
5月より開始	21	6.8%
6月より開始	21	6.8%
7月より開始	23	7.5%
8月より開始	12	3.9%
9月より開始	7	2.3%
10月より開始	31	10.1%
2020年度中に開始予定	42	13.6%
2021年度以降に開始予定	51	16.6%
算定予定なし	41	13.3%
他(未回答含む)	2	0.6%

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

\* 算定あり（今後予定している）と回答した265施設に対して…

どのような患者を対象に算定をしていますか？（複数回答可施設数(n=265)

外来化学加算1算定患者すべて（全診療科）	87	32.8%
一部の診療科	49	18.5%
一部の治療レジメン	51	19.2%
初回治療患者	74	27.9%
治療レジメン変更時	79	29.8%
投与量やスケジュールが変更になるとき	49	18.5%
副作用情報を提供するとき	58	21.9%

連携充実加算の算定に最も携わっている薬剤師の勤務体制 施設数(n=265)

外来化学療法室を担当する専従の薬剤師	55	20.8%
外来化学療法室を主に担当する専任の薬剤師	111	41.9%
他の薬剤部業務と兼任する薬剤師	68	25.7%
他(未回答含む)	31	11.7%

\* 算定なしと回答した92施設に対して…

開始できていない理由を教えてください（複数回答可） 施設数(n=92)

レジメン公開が間に合っていない	46	50.0%
他医療機関や薬局からの相談窓口の設置ができていない	22	23.9%
算定要件である研修会の開催ができていない	43	46.7%
薬剤部科・薬剤師のマンパワー不足	56	60.9%
薬局との連携体制が整っていない	27	29.3%
患者への情報提供ツールが整備できていない	35	38.0%
院内の他職種との理解が得られていない	2	2.2%
院内の管理栄養士の整備が整っていない	20	21.7%
外来化学療法加算1の算定がない	3	3.3%
他(未回答含む)	9	9.8%

## 2. COVID-19流行に伴う施設状況の変化

回答施設における感染症指定医療機関の有無 施設数(n=308)

特定	2	0.6%
第一種	31	10.1%
第二種	117	38.0%
指定病院ではない	146	47.4%
他(未回答含む)	12	3.9%

回答施設におけるPCRの検査体制 施設数(n=308)

緊急事態宣言時から自施設で実施している	79	25.6%
2020年11月現在は自施設で実施している	159	51.6%
外部委託している	69	22.4%
他(未回答含む)	1	0.3%

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

COVID-19流行により、入院でのがん治療にどのような変化があったか？（複数回答可）

施設数 (n=308)

予定手術の延期	173	56.2%
予定内視鏡処置・治療の延期	130	42.2%
抗がん薬による初回治療の延期	39	12.7%
抗がん薬治療が入院から外来治療への移行増加	26	8.4%
抗がん薬治療のインターバルの延長	57	18.5%
積極的な治療が目的でない入院患者の入院延期	88	28.6%
積極的な治療が終了した患者の訪問診療への移行の増加	7	2.3%
入院治療の患者拒否	45	14.6%
特に影響はなかった	83	26.9%
他(未回答含む)	12	3.9%

COVID-19流行により、外来でのがん治療にどのような変化があったか？（複数回答可）

施設数 (n=308)

患者来院間隔の延長	118	38.3%
画像検査などの検査間隔の延長	27	8.8%
抗がん薬による初回治療の延期	32	10.4%
抗がん薬治療のインターバルの延長	68	22.1%
点滴抗がん薬より経口抗がん薬への治療変更	19	6.2%
予防的G-CSF製剤使用の増加	14	4.5%
外来化学療法患者拒否	69	22.4%
特に影響はなかった	126	40.9%
他(未回答含む)	25	8.1%

前年同月と比較してCOVID-19流行により、外来がん化学療法実施件数に変化はあったか？

施設数 (n=308)

5割以上減少した	0	0.0%
3割以上～5割未満減少した	3	1.0%
1割以上～3割未満減少した	42	13.6%
変化なかった	202	65.6%
1割以上～3割未満増加した	52	16.9%
3割以上～5割未満増加した	4	1.3%
5割以上増加した	2	0.6%
他(未回答含む)	3	1.0%

院外処方箋発行している施設では、院内処方に切り替える対応を実施したか？（複数回答可）

施設数 (n=308)

院外処方箋を発行していない	6	1.9%
特に変化はなかった	264	85.7%
抗がん薬は院内処方へ切り替える傾向にあった	0	0.0%
抗がん薬以外も院内処方へ切り替える傾向にあった	1	0.3%
院内処方から院外処方の件数が増加した	7	2.3%
他(未回答含む)	7	2.3%

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

## 3. COVID-19流行に伴う、外来がん患者への薬剤師介入状況の変化

外来化学療法室に従事する薬剤師の配置数について変化はあったか？

施設数 (n=308)

特に薬剤師の配置数に変化はない	302	98.1%
増加した	3	1.0%
減少した	2	0.6%
他(未回答含む)	1	0.3%

外来化学療法室での薬剤師の業務にどのような変化があったか？（複数回答可）

施設数 (n=308)

特に業務に変化はない	269	87.3%
指導対象患者を減らして指導している	7	2.3%
一人一人の指導時間を減らして指導している	8	2.6%
患者指導は必要最小限としている	10	3.2%
患者指導は原則として行わなくなった	1	0.3%
他(未回答含む)	13	4.2%

抗がん薬治療患者への指導時の感染対策はどのようにしていますか？（複数回答可）

施設数 (n=308)

サージカルマスクの使用	281	91.2%
N95マスクの使用	0	0.0%
フェイスシールドの使用	53	17.2%
患者指導ごとの手洗い・うがいの徹底	84	27.3%
患者指導ごとの手指消毒剤による消毒の徹底	203	65.9%
手袋の装着	5	1.6%
患者指導に関わる職員はPCR検査を実施	2	0.6%
アクリル板などの飛沫防止対策	27	8.8%
他(未回答含む)	19	6.2%

患者への薬剤指導時に、薬剤師からの指導を拒否されるケースはあったか

施設数 (n=308)

ある	3	1.0%
ない	281	91.2%
他(未回答含む)	24	7.8%

COVID-19流行により、患者指導方法に変化はあったか

施設数 (n=308)

ある	14	4.5%
ない	273	88.6%
他(未回答含む)	21	6.8%

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

\* 「ある」と回答した14施設に対して…

どのような指導ツールの変化があったか？（複数回答可） 施設数(n=14)

電話での服薬指導を実施	0	0.0%
テレビ電話や他オンラインツールを利用した服薬指導	1	7.1%
動画等の電子媒体を使用した服薬指導	2	14.3%
他(未回答含む)	11	78.6%

## 4. 抗がん薬無菌調製時の個人用防護具等の対策の変化

COVID-19流行により、抗がん薬無菌調製時のPPEの供給状況に変化はあったか？（複数回答可）

サージカルマスク（無菌調製時に使用しているマスク） 施設数(n=308)

特に影響なく使用できた	88	28.6%
供給制限により交換頻度を少なくして対応した	170	55.2%
通常使用しているもの以外のもので代用した	39	12.7%
他(未回答含む)	7	2.3%

ガウン 施設数(n=308)

特に影響なく使用できた	81	26.3%
供給制限により交換頻度を少なくして対応した	170	55.2%
通常使用しているもの以外のもので代用した	54	17.5%
他(未回答含む)	13	4.2%

ゴーグル 施設数(n=308)

特に影響なく使用できた	104	33.8%
供給制限により交換頻度を少なくして対応した	41	13.3%
通常使用しているもの以外のもので代用した	13	4.2%
常時使用していない	134	43.5%
他(未回答含む)	5	1.6%

手袋（耐薬性のニトリル製グローブ） 施設数(n=308)

特に影響なく使用できた	192	62.3%
供給制限により交換頻度を少なくして対応した	66	21.4%
通常使用しているもの以外のもので代用した	27	8.8%
他(未回答含む)	10	3.2%

キャップ（耐薬性のニトリル製グローブ） 施設数(n=308)

特に影響なく使用できた	186	60.4%
供給制限により交換頻度を少なくして対応した	69	22.4%
通常使用しているもの以外のもので代用した	24	7.8%
他(未回答含む)	11	3.6%

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

抗がん剤曝露対策閉鎖式システム (CSTD)

施設数 (n=308)

特に影響なく使用できた	278	90.3%
対象薬剤を減らして対応した	0	0.0%
供給制限により、他メーカーのCSTDに変更した	0	0.0%
新たに導入し始めた	2	0.6%
常時使用していない	4	1.3%
他(未回答含む)	3	1.0%

消毒用エタノール等

施設数 (n=308)

特に影響なく使用できた	191	62.0%
供給制限により交換頻度を少なくして対応した	42	13.6%
通常使用しているもの以外のもの代用した	26	8.4%
自施設で院内製剤として作成して使用した	39	12.7%
他(未回答含む)	7	2.3%

## 5. 0410対応への薬剤師の関与について

回答施設における0410通知に伴う病院としての対応状況

施設数 (n=308)

実施した	236	76.6%
実施していない	70	22.7%
他(未回答含む)	2	0.6%

\* 「実施した」と回答した236施設に対して…

0410通知に関連する薬剤師の対応は2020年11月現在も継続しているか？

施設数 (n=236)

継続	50	16.2%
継続していない	186	60.4%

0410対応に関して薬剤師はどの程度関わっていますか？ (複数回答可)

施設数 (n=308)

患者からの問い合わせ対応	36	11.7%
保険調剤薬局とのやり取り	74	24.0%
保険調剤薬局への処方箋FAXの送信	42	13.6%
処方箋(実物)の送付	30	9.7%
処方箋の代行入力	2	0.6%
薬剤師は関わっていない	107	34.7%
他(未回答含む)	40	13.0%

0410通知に関して施設内で詳しい取り決めを行ったか？

施設数 (n=308)

行った	214	69.5%
行っていない	24	7.8%
他(未回答含む)	70	22.7%

# COVID-19流行下での拠点病院におけるがん領域の薬剤師業務に関する実態調査

薬剤師による電話や情報通信機器による指導は実施していますか？（複数回答可）

施設数 (n=308)

実施していない	236	89.1%
電話による服薬指導を実施している	13	4.9%
テレビ電話や他のオンラインツールを使用して服薬指導実施	5	1.9%
その他	2	0.8%

## 6. COVID-19流行に伴う、医療連携の実施状況の変化

医療連携を目的とした勉強会の実施回数の変化は前年度と比較して変化はあったか？

施設数 (n=308)

5割以上減少した	170	55.2%
3割以上～5割未満減少した	37	12.0%
1割以上～3割未満減少した	20	6.5%
変化なかった	38	12.3%
1割以上～3割未満増加した	4	1.3%
3割以上～5割未満増加した	2	0.6%
5割以上増加した	1	0.3%
もともと実施していない	29	9.4%

薬局からの情報提供（トレーシングレポート等）の実施状況の変化はあったか？

施設数 (n=308)

5割以上減少した	1	0.3%
3割以上～5割未満減少した	0	0.0%
1割以上～3割未満減少した	12	3.9%
変化なかった	213	69.2%
1割以上～3割未満増加した	18	5.8%
3割以上～5割未満増加した	2	0.6%
5割以上増加した	2	0.6%
もともと運用していない	59	19.2%

医療連携を目的とした勉強会にオンライン会議ツールを活用していますか

施設数 (n=308)

活用している	202	76.2%
活用していない	77	29.1%
もともと勉強会を開催していない	27	10.2%
他(未回答含む)	2	0.8%